

令和3年度 財光寺中学校 よりよい学校づくりのためのアンケート				自己評価			次年度に向けての改善策	学校運営協議会委員より		
評価項目	評価の観点	手段	肯定的評価(%)			評価		ご意見等		
			生徒	保護者	職員					
			良好	良好	良好					
学力の向上	わかる授業の充実	【生徒】毎時間の授業に積極的に取り組むことができている。 【教師】生徒が理解できるように授業を工夫することができた。 【生徒】先生方は、工夫して分かりやすい授業をしている。 【教師】常に指導法の工夫改善を行うことができた。	○ 生徒を対象に授業評価を年に3回行い、指導法の工夫改善に役立てる。 ○ タブレットを併用した授業を行う。	4	91	95	【わかる授業の充実】 ○ 主体的・対話的な授業を実践する。 ○ ネット環境の充実を図る。 ○ タブレットを効果的に用いた授業を行う。  【基礎・基本の習得と活用、学習習慣の確立】 ○ 生徒の家庭学習の取り組み状況を通信や三者面談等で伝え、生徒と保護者にも家庭学習の在り方について考えてもらう。 ○ キャリア教育を通して、学ぶことの意義を感じ取らせ、学習意欲の向上につなげる。  【キャリア教育の充実】 ○ PTAや地域の方を巻き込んで、多くの人材から学ぶ機会を設け、多様なものの見方や考え方に触れさせる等、キャリア教育の充実を図る。 ○ 親に仕事のことや人生について語ってもらう機会を学校または家庭で作る。 ・ 学校での講話、家庭でのインタビュー等	3	○ 今回も授業の様子を間近で見ることができずに残念だった。生徒の学力も上がっているようで、先生方や生徒たちの努力を評価する。 ○ 個の生徒に対する声かけがよく行われていると感じた。 ○ 家庭での学習状況の報告のために、答えを写すのみの生徒を見ると、先生方の努力を無にするようで、見て腹が立った。でも、やろうとする姿勢は見せたいのかなとも思う。保護者に伝えることで効果があると思う。 ○ タブレットを活用した授業を見てみたかった。 ○ コロナ感染症で出来ること、出来ないことがあると思う。特に体験などは難しかったと思う。この時期にしか体験することが思うように出来ないのは心苦しいと思う。 ○ キャリア教育は、保護者にとってまだイメージや言語化が出来ていない印象がある。よのなか教室も良いが、生徒自身が親や友達との親・兄弟など身近な人にインタビューしたり、アンケートをとることで、生徒も親も自分事として捉えやすくなるのではないかと、教師の負担が増えないよう、そういった企画を生徒主導やPTAに依頼していくのも良いのではないかと。	
	基礎・基本の習得と活用 学習習慣の確立	【生徒】学習する上で重要な基礎学力をつけるための努力をしている。 【保護者】お子さまは、基礎学力をつけるための努力をしていると思う。 【教師】基礎・基本の定着の手立てをとることができた。 【生徒】家庭での学習は確実にできている。 【保護者】ご家庭でのお子さまの学習は習慣化されている。 【教師】学習習慣を確立させるための手立てをとることができた。	○ 授業時数を確保する。 ○ 既習事項について小テストや課題において、繰り返し復習し、基礎学力の定着を図る。 ○ 自宅学習ノートや副教材を活用し、家庭学習の時間を確保する。 ○ 自宅学習の内容を確認し、指導・支援を行う。 ○ 適宜、進路情報を発信し、将来に関心を持たせる。	3	88	69				80
	キャリア教育の充実	【生徒】家庭で、自分の将来について話し合っている。 【保護者】ご家庭で、お子さまの将来について話し合っている。 【教師】生徒の進路意識を高めることができた。  【生徒】家庭で、自分の役割があり、それを果たしている。 【保護者】お子さまは、ご家庭で自分の役割があり、それを果たしている。 【教師】進路学習や情報提供を計画的に行うなど、基礎的・汎用的能力を育成することができた。	○ 外部人材を活用し、社会人のものの見方や考え方に触れさせ、自己の進路に対して考える時間を設ける。 ○ 日南市キャリア教育支援センターとの連携を図り、キャリア教育の充実を図る。 ○ 適宜、進路情報を発信する。	3	73	81				75
豊かな心の育成	道徳教育と人権教育の充実	【生徒】道徳の時間は、自分自身にとって有意義な時間となっている。 【教師】道徳教育の充実を図ることができた。	○ 道徳の授業を完全実施する。 ○ 指導者をローテーション制にすることで、指導の充実を図る。 ○ 人権標語を作成し、日めくりカレンダーとして教室に設置する。 ○ 人権週間等の機会を生かし、各学年で人権について考える時間を設ける。 ○ 豊かな心を育む手段として、生徒会主催で活動を実践する。(ありがとうの樹、校内ボランティア等)	4	86	84	【道徳教育と人権教育の充実】 ○ 道徳のローテーション制を継続する。 ○ 人権標語や人権作文を屋の放送等で紹介する。 ○ 生徒会活動と連動し、生徒の主体的学びにつなげる。 ○ ソーシャルスキルトレーニング等、人間関係づくりの支援を行う。  【無言・気づきの清掃の深化】 ○ 清掃は、継続して生徒会活動と関連付けて実践する。 ○ 清掃徹底週間のチェック項目(無言で取り組んでいるか、時間いっぱい取り組んでいるか、チャイムが鳴る間黙想ができていないか、気づきの清掃ができていないか)に、整理整頓ができていないかという項目を加え、教室環境整備の視点を加え、活用方法も工夫する。  【絆づくりの推進、生徒会活動の活性化】 ○ 生徒会主催のボランティア活動等、生徒の主体的な活動を支援			
	無言・気づきの清掃の深化	【生徒】無言清掃・気づきの清掃に積極的に取り組むことができています。 【保護者】お子さまは、ご家庭で整理整頓をきちんとしている。 【教師】無言清掃・気づきの清掃の充実・深化を図ることができた。	○ 生徒会の活動と関連付け、グッドクリーンプロジェクトを実施する。 ○ 清掃深化ウィーク、清掃徹底週間を設ける。	3	96	38		81		
	絆づくりの推進 生徒会活動の活性化	【生徒】学校生活において活躍できる場面やできそうな場面がある。 【保護者】学校生活においてお子さまが活躍できる場面やできそうな場面があると思う。 【教師】授業や行事等において生徒が活躍できる場面を実施し、自己有用感を高めることができた。	○ 生徒会活動の充実を図る。 ○ 主体的・対話的な授業を実践する。 ○ 係活動の充実を図る。 ○ 行事において、生徒が主体的に取り組む場面を設定する。	4	82	76		85		
体力の向上	体力の向上	【生徒】体力を高めるために、体育の授業や部活動・校外スポーツ等において積極的に活動ができた。 【保護者】お子さまは、体育の授業や部活動校外スポーツ等で充実した活動ができていると感じる。 【教師】体力向上プラン等による積極的な取組や部活動等の指導を通して、生徒の体力向上を意識した取組をすることができた。	○ 体力向上プランに基づき実践する。 ○ 部活動の時間を確保する。	3	88	74	45	【体力の向上】 ○ 授業前に行っている、主運動に繋がる補強運動(握力を鍛えたり、柔軟性を高めるためのストレッチなど)を今後も継続する。 ○ 今年度同様、体育館にスポーツテストの目標を掲示する等、体力向上プランに基づき、コロナ対策で不十分だった部活動の実施も加え、継続して実践する。  【健康的な生活習慣、安全教育の推進】 ○ 登下校時の交通ルールについて、学級通信等を通じて啓発を行う。 ○ 手洗い・消毒・3密回避などの感染拡大防止について、引き続き指導を徹底する。 ○ 朝ご飯を中心とした、食育講座を計画し、実施する。		
	健康的な生活習慣 安全教育の推進	【生徒】健康面や安全面を考えて生活している。 【保護者】お子さまは、ご家庭で健康・衛生面や安全面を考えて生活している。 【教師】自分や周囲の健康の保持・増進のために、衛生・安全面の意識を高めることができた。  【生徒】規則正しい食生活を送っている。 【保護者】お子さまは、規則正しい食生活を送っている。 【教師】給食時の指導を通して、正しい食生活の習慣を身につけさせることができた。	○ 安全な学校生活を送るために、規範意識の向上を図る。 ○ 登下校時に、学校周辺で見守り活動を行う。 ○ 新型コロナウイルス感染拡大防止のために新しい生活様式を実践する。 ○ 給食時に、食事のマナーや、バランスのとれた食事について指導する。	4	92	81	90			
地域連携	家庭と学校の連携推進	【生徒】学校や学級からの文書や通信を保護者の方に見せている。 【保護者】学校や学級からの文書や通信を見ている。 【教師】学級通信等を介して、保護者との連絡を図り、連携を推進することができた。	○ 学級懇談・学年懇談(年1~2回程度)を通して、今後の見通しや情報を発信する。 ○ 学級通信や学年通信、学校便り等で情報を発信する。 ○ 必要な連絡が漏れないように安心安全メールを有効に活用する。	3	83	75	50	【家庭と学校の連携推進】 ○ 安心安全メールを積極的に活用する。  【地域社会との連携推進】 ○ 総合的な学習の時間での地域人材の活用を図る。 ・ よのなか教室、体験学習、面接指導など ○ 生徒会主体のボランティア活動を継続して行う。		
	地域社会との連携推進	【生徒】地域の行事やボランティア活動等に参加できた。 【保護者】お子さまは、地域の行事やボランティア活動等に参加している。 【教師】地域社会との連携(地域人材の活用・ボランティア活動への参加等)を意識した取組をすることができた。	○ 生徒会主導のボランティア活動を実施する。 ○ 地域人材の活用を図る。	2	53	24	30			
小中一貫教育	小学校との連携推進	【教師】めざす児童生徒の姿の実現のために、中学校区内の学校で共通実践が進められている。  【教師】小中一貫教育の取組により、めざす児童生徒像の姿に近づいている。	○ 合同研修会の充実を図る。 ○ 必要な情報の共有を図る。	3			62	○ コロナの感染状況で、なかなか会議を開催することが難しいこともあったので、今後会議を開催できるようになればと思う。 ○ コミュニティスクールや財光寺小学校で始まった「しゃべり場」などの3校合同実施により、地域や家庭も一緒に連携していくことに期待したい。		
				2			48			